

今年の ゴールデン・ウィーク、皆様は いかがお過ごしでしたでしょうか。

30日(土)には、お忙しい中にも拘わりませず、保護者会総会に御出席頂きまして本当にありがとうございました。年度始めでありますゆえ、お伝えすることが多く毎年、長時間になってしまいますが、皆様とお会いし、直接お話をさせて頂くことでこの1年の歩みへの希望と力が心に溢れてきます。毎年、私にとっての保護者会は皆様との出会いを感謝すると共に「皆様方のお子さんを大切に育てて参ります！」という誓いの時でもあります。この、つのぶえ保育園は、子どもも大人も“人として” 真剣に生き合う場所です。乳幼児期において何よりも育まなければならないのは“心”です。人は人の中で人と生き合い、心をいっぱい！使うことで 心が育ちます。信じること・祈ること・愛すること、これらは人が生きる上で大切な 心の三要素だと思います。目には見えていないものにこそ、深い意味があり大切であることを私自身もまた、子ども達との時の中で、共に分かち合い 成長したいと願っています。

ひと月を終え、4月からの新しい仲間たちの生活リズムも、すっかり落ち着いて少しずつですが“その子らしさ”を感じられるようになり、穏やかな笑顔が嬉しく微笑ましく見守っています。連休も終わり、本格的な今年度の歩みのスタートです。それぞれのクラスの担任達も、毎日とても元気に張り切っています。23名という大勢のスタッフですが、全員の子も達を職員全員で、皆が同じ理解と意識を持ち子ども達同様、保育者自身も“心”と“言葉”を大切に、祈り合い支え合いながら人として、精一杯歩んで参ります。今年度も どうぞよろしく願いいたします。

さて、私たちが思ってもみなかった、突然の「熊本地震」から間もなく1か月が経とうとしています。いまだに、震度4レベルの大きな揺れが頻繁に起こっている被災地で、測り知れない恐怖と不安に襲われながら、毎日を過ごされている方々は、どんなにつらい時を耐えているのだろうと、5年前の東日本大震災の想いも重なり「どうかこれ以上は止めてください！すべての人に慰めと平安を与えてください」と切なる叫びと共に神様へ祈らずにはいられません。また、関連死という報道にも胸が痛みます。震源が東へ上ってきているような気もして、これからまだ続くのかまた違う場所で発生するのか、この国は、きっとどこもボロボロに違いありません。大自然の営みが確実に変わり何かが狂い、壊れ始めているような気がしてならないこの頃です。人間も動物も植物も、この世界に生きとし生けるものはみな、すべてつくられたもの、命も時間も環境も何もかもを与えられて恵まれて生かされている存在であるはずなのに、それを忘れ、或いは知らず、或いは軽んじてしまっている人間たちの、心の傲慢に対して鳴らされている神様からの警鐘なのかもしれません。だからこそ 今一度 立ち止まり、その「被造物としての“分際”」について真摯に想いを馳せるべき時が来ていることを切に感じています。大地震の予想や予言など様々な情報等に翻弄され 騒いでいる私たちの姿を神様はどう見ているのでしょうか。神様の御心が、人知などでは 到底 理解も予想も出来ない、果てしなく高いものであると、自らの浅はかさに人間は改めて思い知らされなければならないと思います。毎週金曜日の全体礼拝では、聖書に記されている出来事を初めから順に語りますが間もなく始まる第1章の「天地創造」を通して、人としての在るべき姿にもう一度立ち返りたいと思います。神様の愛と平和が すべての人と共にありますように…。『いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。(1コリント 13:13)』 (石田 記)